

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 ■H23 (A-Ⅱ) □H24 (Ⅰ) □H24 (Ⅱ) 【AIMS】 □H25／ 大阪大学

■プログラム名

「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

――以下、シンガポールに特化した内容を主に記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

(シンガポール) ナンヤン工科大学 S. Rajaratnam School of International Studies

■主な活動内容（概要）

- 1) 短期集中スタディープログラム 受入
- 2) セメスタープログラム派遣
- 3) セメスタープログラム受入
- 4) 日本セミナー
- 5) ASEAN CAREER FAIR with JAPAN

■プログラムの現状・課題、成功事例

(単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください)

現状・課題

RSIS との交流は、単位互換が必要でない博士課程の学生に限られており、短期集中プログラムでの受入れと日本の博士課程の学生の研究生としての派遣が主な交流実績である。RSIS の修士課程は英国式の 1 年間集中型のために、学生に海外留学の選択肢はない。RSIS の博士課程の学生の日本でのセメスター受入れは可能だが、本年度まで RSIS 側の学生にその関心がなかったため、実現していなかった。今年度は初めて受入れ予定だったが学生の健康上の理由で来年度に延期した。

RSIS には日本研究がないのが課題であるが、本事業では毎年 3 月に RSIS で日本セミナーを開催しており、これを機に RSIS での日本研究の確立を目指している。

成功事例

ASEAN CAREER FAIR with JAPAN は本事業の一環として、東南アジアの学生の出口戦略の確保のために、民間の人材派遣企業の協力のもと、日本企業と ASEAN の大学及び学生をつなげるための産学連携事業として推進しており、昨年度、今年度ともシンガポールで開催しているが、この事業においてはナンヤン工科大学のキャリアセンターがきわめて積極的に協力してくれており、シンガポール国立大学のみならず、ASEAN の他大学とのネットワーク形成にも重要な役割を果たしている。昨年度の参加応募学生数は ASEAN 全体で 500 名程度だったが、今年度は飛躍的に増加し、3000 名の募集があった。